

第189話 俳諧②

中山町歴史散策

その頃、長崎には松田未覚、青木定章、隣村の大谷には白田風和などの俳人が居り、俳諧不毛の地では全くありませんでした。未覚については別に詳しく紹介しますが、芭蕉より6歳も年上で、多くの「撰集(句集)」にその名が掲載されるなど、名の売れた俳諧人でした。未覚と年の差もそれほど離れない定章(安原貞室門下)も長崎に居住し、連歌の会を主催するなど、門下生も多かったそうです。また、尾花沢の鈴木清風(高瀬梅盛門下)もこの時期句作にこそしんでいました。

農の間や代官所役人、僧侶の間でも盛んに句会が催されていたのは間違いないでしょう。例えば、文新田の服部文右衛門家に所蔵されている「安原貞室撰真蹟(寛文5年)」、「北村季吟翁撰真蹟(元禄3年)」、「追膳俳諧」など、いくつかの古い俳諧巻が残されており、未覚の句もいくつか記されています。これらの資料も、方々で書写を重ねて、句作の手に用いられたことは疑いがないでしょう。



松田未覚追膳俳諧(末尾)

※引用 中山町史 中巻

第10章第3節
文芸と美術工芸

私たち地域おこし協力隊です！ No.55

皆さんこんにちは！地域おこし協力隊の高橋です。

今月から協力隊としての活動2年目を迎え、この「私たち地域おこし協力隊です！」の執筆を担当することとなりました。

さて、私の業務内容は情報発信を行うことです。皆さんは情報発信というと、何を想像するでしょうか？広報誌やチラシ、新聞などがパッとでてくるかと思います。私の行っている情報発信は、SNS(Instagram)を使用しています。これは、主にスマホで写真や文章はもちろん、動画を発信することもできるサービスです。町内の方だけでなく、Instagramを利用しているすべての人に対して情報を発信できます。

右の二次元コードから見るができますので、Instagramをやっている方は一度ご覧いただければ幸いです(「なかやま日和」)。Instagramをこれから始めてみたい方は、「スマホ教室」や「スマホよろず相談所」にぜひ足をお運びください。

これからも様々な活動を行っていきますので、どうぞ皆さんよろしくお願いたします！



高橋 圭哉

出身地：宮城県岩沼市
趣味：けん玉、アニメ鑑賞



NAKAYAMABIYORI

●協力隊への問い合わせ先● 高橋 ☎662-2223 (総務広報課)